

季節のことば

食欲の秋。
マツタケ、クリ、カキ、秋なす
び。魚ではサンマ、イワシ、コハ
ダ、秋サバ。お米は新米の季節で
ある。それに、酒がうまい。
こうやってうまいものをあげ
ていくと新鮮な食材ばかりであ
ることに気付く。やはり料理だ

けではなく食材が大切というこ
とでしょう。
政治の方では、党の数に比し
て政策(食材)不足で食欲がわか
ないという声もチラホラ。うーん。
白玉の歯にしみとほる秋の世
の酒はしずかに飲むべかりけり
(牧水)

●あなたと三笠をむすぶホット情報

Mikasa NEWS

三笠ニュース

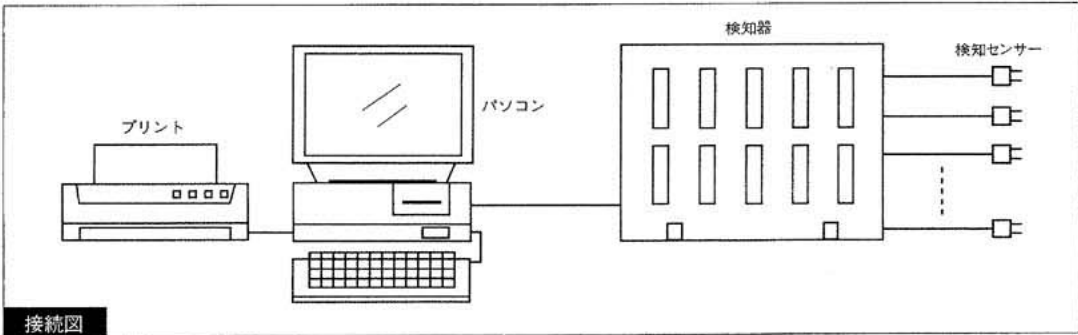
PR刊報/年4回発行
発行所 三笠産業株式会社
郵便番号101 東京都千代田区猿樂町1-4-3
電話03(3292)1411大代表 ファックス03(3233)0530

コンクリート工事に最強の味方… 充填検知システム完成

小型センサーで状況を完全把握



検知器



接続図

コンクリートを打設する場合、型枠の形状及び複雑な鉄筋の配置などにより、型枠内部へのコンクリートの充填状況が確認出来ない為、経験的な判断によって充填状況を推測しながら施工しているのが現状でした。

今回開発したコンクリート充填位置検知システムは、わずか2cm程度のセンサーを充填しにくい場所に取り付けることにより、充填確認が出来るシステムです。

また複数のセンサーを取り付けることにより、充填状況がリアルタイムに把握でき、適切・確実なコンクリート打設が行えます。

このシステムは、検知センサー部と検知器からなっています。作動原理は、

ある間隙を保つ2本の電極間に交流電源を印可し、コンクリートが両電極を浸漬した時に通電状態となり、その時の電気抵抗を測定して感知器のパイロットランプを点灯させるものです。

またオプションとして外部出力端子

◎参考 各種材料の電気抵抗値

材 料	抵抗値	LED点灯
空気	99KΩ	×
木	99KΩ	×
水	2KΩ	×
剥離剤	99KΩ	×
コンクリート	420～500Ω	○
ペースト	160～190Ω	○
モルタル	330～380Ω	○

(抵抗値は配合などによって異なりますので注意して下さい)

を取り付けることが出来ます。これにより離れた場所からパソコン画面上で複数のコンクリート打設作業を管理することも可能となり、信頼性の高い施工で高品質のコンクリートの打設が出来ます。

1. センサーは2cm程度と小型・軽量なので、任意の場所へ取付が可能で、センサーを埋め殺しにしても施工後のコンクリート製品の品質に影響を与えることはありません。

2. 充填状況は、センサーリード線を検知器に接続するだけで、ランプの点灯によって知ることが出来ます。

3. オプションの外部出力端子とパソコンを接続することにより、構造物の図形上に充填状況を作図出来、施工管理



日本橋三越で開催の『知られざる名画展』を覗いてきた。日本の有名企業が所蔵する絵画に「知られざる名画」と題し、今回は約30社からの自薦をふくむ約70点で構成した展覧会である。さすがに名作も多く、ああ、ここにあったのか！と再会に感激したり「この作品は公共美術館が所有すべきではないか」など無用なお節介を吐いたりして、初秋のひとつきを過ごしてきたのだった。

芸術作品というものは秘蔵であれ公開であれ常に正当な評価をうける権利を持っている。そして鑑賞者はそれぞれ、典雅な色彩に深い感銘を受ける人もあれば構図の妙に酔いしれたり、あるいは描線の美からリズムと詩の交響を聞く者など、百人百様だが眼と心の快楽に変わりはない筈である。「知られざる名画」をわが社に拾ってみると館林工場会議室の西村龍介、東郷青児、本社ではジュッフェ、永井郁…などなど思い浮かんでくるが、いま社長室の壁面を飾っているのは中国上海生まれの水彩画家・趙国明の「向日葵」である。明るく強靱なイエローを基調にしてその透明性と神秘性の両極を感受させる作品だ。四才からアメリカ人画家につき水彩の英才教育を受けたという。優れた技法は当然として、彼のコスモポリタニズムが作品の魅力をさらに高めている。ふらりと日本に来て六年間の滞在ののち今春離日、今度はオーストラリアでの制作活動を始めた。彼のテーマのひとつに大自然がもつ生命感・躍動感との呼応があって私はその作品にも惹かれており、いつの日かふたたび巡り合うのを夢見ることがある。

企業会社と芸術作品は一見なさぬ仲のような不思議な空白を彩り、ひそかに蜜を醸す。これが「知られざる名作」の持ち味だろう…。

上大変便利です。

4. 取り付けたセンサーが水や剥離剤に触れても点灯しませんので、コンクリートを確実に区別判断することが出来ます。

第11回 北海道三笠レンタル会総会開催



今年で第11回を迎えた北海道三笠レンタル会定時総会が8月8日、9日の両日、定山溪、ホテル鹿の湯・新館花もみじにて盛大に開催されました。

総会に先立って行われた三笠主力製品実演説明会では、現在大好評を頂いておりますマイコンバイブレーターをはじめ、高周波バイブレーター、バイプロコンパクター等、新機種を加え、また、ランマーにおいてはディーゼルエンジン、あるいは4サイクルエンジンを搭載したものなどを技術研究所員の実演説明により、ご出席の方々に改めて性能の良さを知って頂きました。

当会も年を追うごとに会員数が増え、今年は総勢55社と、多数の会員数となりました。

第二部の総会ではまず北守会長(檜崎リース(株)取締役社長)より「昨年は大型補正予算が出ましたが、今年は予算の遅れ、公共投資の息切れを感じます。これを乗り切り皆様方の益々のご発展をお祈りいたします。」とのご挨拶があり、続いて三笠産業(株)京谷社長

から第11回北海道三笠レンタル会が会長、役員をはじめ全会員によって開催されたことに感謝申し上げる旨の挨拶がありました。また、情勢に関して、「不安定な景気が続く中、ユーザーに対し適切かつ安心できる製品、サービスの提供」また格別の協力も約束致しました。

議事では、今期の事業計画として技術向上に向け、道内6カ所にて修理指導、保守管理方法などの講習会、また来年3月の新製品発表会の実施などを決定致しました。

懇親会では久々にお会いする方もおられ、日頃の仕事の話を含め歓談の輪が広がり盛会の内に終了しました。

翌日のゴルフ大会では、あいにくの雨にもかかわらず、熱戦が繰り広げられ、太陽リース(株)村上社長が優勝、サイトー建機販売(株)の斉藤社長が準優勝されました。

会員の皆様のおかげをもちまして本年も盛大の内に終了することが出来、厚くお礼申し上げます。

札幌課 池尻記



東北三笠レンタル会初代会長 中野勇氏に建設大臣表彰



東北地区に於ける三笠の有力な代理店であり、東北三笠レンタル会の牽引的存在である山中産業(株)(仙台市宮城野区扇町3-4-41)の中野勇社長が去る7月10日、建設大臣表彰を受賞された。

同賞は建設省から第48回国土建設週間に当たり建設事業関係功労者及び優良団体に対して表彰するもので、多年建設機械業に精励するとともに関係団体の役員として業界の発展に寄与した

頂けた様子でした。

翌日は親善ゴルフコンペが行われ、曇り空で涼しい絶好のコンディションとなりました。優勝は神奈川県の常盤工業(株)風間部長(東京三笠レンタル会理事)、準優勝は栃木県の(株)宇建小野寺専務(東京三笠レンタル会副会

としてこの度のめでたい受賞となったものです。

同社は創業30周年の記念すべき年で、二重の喜びであり、過日京谷社長が訪問し、心よりお祝いを申し述べてきました。

中野社長は宮城県建設機械リース業協会の二代目会長として6年に亘り誠心誠意努力され、同県会員から寄せられる信頼は絶大なものがあります。

また全建連の最も大きなテーマである構造改善事業の第2次委員長をも4年の間努められ、名実ともにレンタル業界の向上発展に全力で努力された実績とその真摯な人間性を讃える声は非常に大きく伝わっています。

また東北三笠レンタル会の初代会長としても昭和60年の設立から8年の長きに亘り、細心のお心配りとアイデアを頂戴し、現在の大きな会へと発展した第一の功労者でもございます。

今後ともご健勝で我々をご指導下さるようお願いし、山中産業さんの益々のご発展を心よりご祈念申し上げます。

長)、ベスグロは長野県の(株)第一リース驚森副社長様でした。

最後にお集まり頂きました会員の皆様方のご発展とご健康を心からお祈り申し上げます。本当に有り難うございました。

静岡課 和泉記

第12回 東北三笠レンタル会総会

平成8年9月18日・19日の両日、仙台の奥座敷である作並温泉、ホテルの坊に於いて第12回東北三笠レンタル会総会が開催され多数の会員の皆様にご参加いただきました。

総会に先立ち屋外特設会場にて三笠主力製品及び新製品説明会が行われました。今回は数々の新製品が発表となり、高周波用インバーターのFU-160及びFV-300型、油圧ギア駆動方式のMRH-6DSローラー、MT-50Fガソリンランマー、MT-63HS分離給油式ランマー、MT-76Dディーゼルランマー、そしてコンクリート打設時に充填状況が把握できるコンクリート投入レベル検知センサー等々の製品説明が行われ、ご出席いただいた会員の皆様に製品の良さを知っていただきました。

続いて会場を移して総会の開会となり、初めに東北三笠レンタル会福田会長(幸和リース(株)代表取締役社長)より「今年は景気の良い企業と悪い企業がある中で、建設機械業界は今大変厳しい状況ではあるが、そんな中二つ程すばらしいニュースがあり、一つは東北三笠レンタル会前会長であります中野社長(山中産業(株)代表取締役)が建設大臣賞を受賞され、又、当会副会長である佐々木社長((株)イブキ産業代表取締役)がホールインワンを成し遂げられ、このような不況の中において、当会は不況知らず」と挨拶があり、続



いて三笠産業(株)京谷社長の三笠製品ご愛顧の感謝の言葉、三笠の現状報告、経理分析等の挨拶に会員の方々は熱心に聞き入ってうなずく人もいました。

引き続き場所を移し、懇親会となり、東北三笠レンタル会佐々木副会長((株)イブキ産業代表取締役)の乾杯の音頭にて、会員の皆様及び三笠社員と親睦を深めていただき盛会の内に終了となりました。

翌日は西仙台カントリークラブにてゴルフコンペが開催され、レベルの高い闘いの中(株)協和機工大瀬社長が見事に優勝され、準優勝は(株)館内リース販売館内社長となりました。

お忙しい処にご出席いただいた会員の皆様に厚くお礼申し上げます。

東北二課 菊地記

第13回 東京三笠レンタル会総会

残暑をすっかり忘れてしまいそうな、清々しい秋晴れの9月12日(木)東京三笠レンタル会会員の皆様には、群馬県伊香保温泉ホテル「福一」にご集合頂きました。

最初の新製品発表・説明会では三笠技術陣から、FU-160インバーター、MT-63HS分離給油ランマー、MVH-303DS、MVR-100Wバイプロコンパクター、MRH-6DSローラー等、新製品の説明と実演が行われました。特に今回は、新製品の内容が充実していた事と実演が功を奏した為、会員の皆様が実際に機械に接して頂く時間が長く、また熱心な質問等で予定の時間をオーバーしてしまいました。

次のレンタル会総会は、会場を「麗峰」の間に移して、三笠産業(株)高野常務の開会の言葉で始まり、東京三笠レンタル会原会長(片岡建機リース(株)社長)の三笠思いのご挨拶、続いて三笠産業(株)京谷社長の遠い所お集まり頂いた会員の皆様と役員の方々のご苦勞に対する感謝、また専門分野に於いての新製品開発に対する努力、営業力の強化、サービスの充実を心がけた事や、会員の皆様の根強いご援助とご協力のおかげで好業績を上げられている等の挨拶がありました。

また新入会員の信陽機材リース(株)



(本社・長野県上田市)若尾社長様、(有)ヤハタ建機リース(本社・新潟県岩船郡山北町)国兼社長様、平和建販(株)(本社・東京都台東区)後藤社長様をご紹介された後、総会議事は第12期事業報告、役員改選、第13期事業計画案が満場一致で了承され無事閉会となりました。

後は「塩類性含鉄炭酸泉」といわれる伊香保の湯に入る等、ご休息をとって頂いた後、懇親会は三笠産業(株)京谷副社長の挨拶、東京三笠レンタル会高屋理事(コーエイ(株)社長)の乾杯の音頭で始まり、美味しい酒と料理、綺麗どころの八木節などに皆様方ご満足

第20回海外視察旅行レポート

バンコク プーケット シンガポール

雨がちらつく9月1日(日)午前11時、日本航空717便は定刻通り成田空港を飛び立った。今回の海外視察旅行のメンバーは持木(技術研究所)、大沢(高崎営業所)、丹野(静岡営業所)、塩原・辻(本社)のバラエティーに富んだ5人だ。昨年の社員旅行が香港だったという特別のご配慮により、それに代わって選んだ地はバンコク～プーケット～シンガポール。5人の珍道中の始まり始まり。

＝バンコク＝

4時間も飛行機に乗るのか思いきや実は時差を考えれば6時間と気づき、いきなり疲れてしまった5人。タイのドン・ムアン空港に到着すると現地JTBのガイド“タラニーさん”が出迎えてくれ、先ずは一安心。しかし外へ出るとまたも雨模様。5月～10月は雨期とは知っていたが第1日目からまた不安になった。宿はデュシタニという近代的で美しいホテル。

翌日は観光三昧の一日。暁の寺院、王宮とまばゆいばかりの建造物の数々。異国にいることを改めて実感した。タイではお坊さんと子供の頭には触れてはいけないとのこと。お坊さんはまだしも何故子供の頭？と問うたところ子供の頭には精霊が宿っていると



(バンコクにて)

か。とても素敵だなと思いつつも子供がそばに来ると触れないように固くなってしまった。

エメラルド寺院に一步足を踏み入ると突然のスコール。しばらく雨宿りをしたが止むどころかますます強くなる一方。決心してびしょ濡れになりながら車に戻った私達。またしても水難の相。

初日、2日目と、二晩とも我が社の大切な取引先である泰盛貿易(株)の方々にお世話になった。タイ風しゃぶしゃぶ、中華と甲乙付け難く、心ゆくまで堪能した。しかし何人かはパクチーと呼ばれるタイ独特の香辛料が苦手なようで、はじめはうまくよけながら食べていた。

しかし泰盛貿易(株)の方々のおかげでとても楽しい時間が過ごせた。紙面を借りて心からお礼申し上げる次第。

＝プーケット＝

プーケットは1週間くらいステイし



(シンガポールにて 左より丹野、大沢、塩原、辻、持木)

てのんびりしたいところだ。しかし今回はそんな悠長なことは言っていられない。何か有意義なことをしなければと皆で決めたものはシーカヌー(SEA CANOE)。船で見どころの場所近くまで行きそれぞれのカヌーに2人で乗り込む。それぞれのカヌーには一人ずつ現地のインストラクターが付きガイドをしながら漕いでくれる。これはなかなかスリルとサスペンスものだ。こうもりのいる洞窟、体を寝かさないと通れないような小さな洞穴、鍾乳洞、そして高いところには猿、振り向くとイグアナという具合。圧巻だったのは熱帯雨林にしかないと言われるマングローブの木。まるでアマゾンの奥地でもレポートしている気分になってきた。このツアーに参加している人々も日本人は私達だけで他はインド人のハネムーン2組、アメリカ人らしきおじさまとカップル。ウーンこれこそ海外旅行！今思い出してもこれが一番楽しいイベントだった気がする。

＝シンガポール＝

プーケットからシンガポールに行くにはクアラルンプールで乗り換えるという難関が待っていた。しかし乗り継ぎの時間が2時間もあったのでお約束のごとく少し迷わせて頂いたが、無事、一路シンガポールへ。

東京以上かと思うほどの近代的な都市。あまりのきれいに何故か少し物足りなさも感じた。夜はやはり屋台だと決めMRT(地下鉄)でクラークキーへ。しかし我々が選んだ屋台は外れたようで焼き鳥のようなものは砂糖に漬けたように甘いものだった。早々に退散しやっと思いつけた麺類の店でラーメンを食べた。そして明日はケンタッキーフライドチキンへ行こうと固く皆で誓ったのであった。

市内観光では植物園へ行き、数々のランを見学、その後マライオンを遠くに見、最後にシンガポールで2番目に高い丘であるというマウントフェーバーから市街を一望した。そこには観光客目当ての大きなヘビを首に巻いた人達が手招きをしていた。私達の一人がいよいよヘビを首に巻き、おっかなびっくりの何とも情けない？顔で写真に収まった。

6泊7日の研修旅行。最後の日にはかなり疲れていたがとても貴重な体験をしたと思っている。最後に私達の旅行をサポートしてくれた全ての皆様、誠に有り難うございました。



みちかな 樹木トーク

銀杏、公孫樹、鴨脚樹

イチヨウ

イチヨウ、銀杏…と云えば、人は誰もが自分の記憶の中のイチヨウの木を思い浮かべることでしょ。たとえ樹木に全く関心のない人でもイチヨウの木は知っているはず。

秋の陽を浴びて輝く美しい黄色。黄色い扇子…。これは都会育ちにも田舎生まれにも共通した印象でしょう。

三笠本社への通りすがり、錦華公園の坂道に沿ってクスノキ、ケヤキなどの大木が並ぶ中、イチヨウの大木が一本高くそびえています。秋がふける頃、散った落葉を踏み、かがみこんで銀杏を拾い集める人の姿も見ました。

茶碗むしやおでんのオツな味付けになるギンナン。居酒屋では串刺しにした薄みどり色の宝珠の一品になる。このギンナンが銀杏の種であることはご承知の通りだが、ギンナンになるのはメスの樹だけ。オスの樹にはその代わりに乳といわれるコブが垂れ下がるのです。妖しくエロチックな匂いが強く、オスの木には乳房がたれるなどまことに奇怪な樹木。イチヨウは高等植物と

いわれ、精子によって受精が行われると聞けばなおさら関心を持たずにはいられません。

東京小石川の東大植物園にはイチヨウの巨木が一本立っており「この木で精子の発見がされた」という碑があります。明治29年、平瀬作五郎によって発見とあり、すると今年は宮沢賢治生誕のみならず“百年”です。発見者の平瀬先生ってどんな人？と人名辞典をひらく前にもう少しイチヨウのことを話しましょう。漢方薬の店へ入って胃腸薬を探していたらまるで語呂合わせのように「イチヨウ葉エキス」というのをに出してくれたことがあります。

「イチヨウ葉エキス。へー？これは何に効くんですか」

「痴呆症の改善、血管の拡張それから頻尿症にも効果がありますよ…」

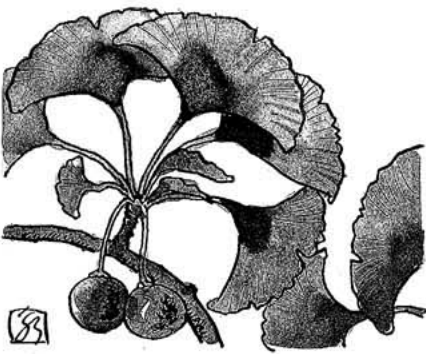
漢方薬店のオヤジは得意そうにペラペラと講義をはじめました。数年前からドイツやフランスその他の欧州諸国で増産されているのだそうです。日本はその原料の輸出国だとか。

「国内用では健康食品として乾燥させた葉を売り出しています。試食をどうぞ」はい有り難う。バリバリ。…いい味とはいえないが効きそうな味でした。

桃栗3年、柿8年、柚子の大バカ18年。イチヨウはさらに長い25年かけて実をつけるそうです。つまり孫の代でやっとな実がなるというので中国では公孫樹と呼ぶ。日本語のイチヨウは異説あまたで「異朝の木」とか葉が蝶々に似ているから「寝蝶」だなどといわれています。これを貝原益軒先生が「葉が

一枚だけつくから一葉」と説いて定説になって昭和初年まで。さてまた新村出博士が新しく考証し「中国での呼び名“鴨脚樹”の宋音ヤーチャオがなまってイチヨウ」と発表。いまではこの新村説が一般的です。

イチヨウの精子発見者、平瀬作五郎は安政3年(1856)福井藩士の子として生まれ、16才のとき東京で写実派の油絵を学んだ。やがて岐阜県の中学校、師範学校で図画と博物を教えるようになり、32才のとき東京帝国大学の植物学教室助手になっています。平瀬の巧みな作図と器用な指先を見込んだ石川千代松先生たちはこの画工を暖かく見



守って援助していた。そんなある日、平瀬は顕微鏡下にギンナンの実から「変な毛が生えたもの」を見つけた。何だか判らないが変なもの。平瀬はこれを若い助教池野成一郎に見せ、共同調査のようにして研究を続けた。

「平瀬くん、君はすごいものを見つけたようだヨ、精虫らしいノ」

「でも、泳ぐところを見ないと決定的なことは云えませんか」と平瀬。

いまま小石川植物園にそびえるイチヨウの木がその観察研究の対象になっ

たのだった。9ヶ月の後、平瀬作五郎40才の「いてふ/精虫について」と題する論文が書かれた。「花粉管ノ一端ヨリ飛び出シテ、胚珠ノ内面ニ溜レル液汁内ヲ、自転シナガラ、スコブル迅速ニ遊進スル状ヲ目撃スルヲ得タリ」と。これが世界中の植物学者を驚かせる世紀の大発見論文だった。

これに刺激をうけた同僚池野成一郎は「イチヨウに精虫があるのならばソテツにも…」と、鹿児島県へ出向いて期待どりに発見した。

約一億五千万年前、地質学でいうところのジュラ紀の化石にはイチヨウが頻出しているという。氷河期に地球上の植物がほとんど死滅したけれど、中国でのやや温暖な気象に救われてイチヨウは生き残ったとされます。

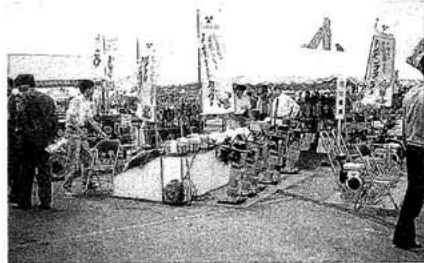
こんな古い生き立ちの植物であるイチヨウには信仰にまつわる伝説も多い。日蓮上人がツエを地面にさしたら根がついて葉が茂ったとか、火事になったらイチヨウの木から水がふき出して火を消したとか。寺院の庭に植樹されるのは「火除けの木」だからと聞かされたことがあります。木が水をふき出すのは大げさ。しかし火力に対して大変に強いことは本当です。全焼した家の庭木がすべて枯れたのに、イチヨウだけはちゃんと幹から新芽をふきだして生き返ったのを見たことがあります。

日本全国の三笠のみなさん、どこのイチヨウの巨木、あるいは並木を思い浮かべますか。それはメス木ですかオス木ですか。色づいて秋の陽にかがやく季節がもうすぐやって来ます。(牧)

ユアサ商事(株) 全国各地でフェア'96開催



東京会場



札幌会場

東京(7月5日・6日開催)

第19回と恒例になっている、ユアサ商事「産業と暮らしのグランドフェア'96」は、去る7月5日(金)～7月6日(土)の2日間、今話題の臨海副都心の中にある東京ビッグサイトで盛大に開催された。

両日は広大なこのコンベンションホールに多数のメーカーが協賛し、各小間にて各社工夫を凝らした展示を行っており、三笠産業に於いても屋外展示場(建設機械関連が出展)の入口という場所を受け持ち、他社を圧倒する商品群と話題性のある機種を展示して来場者のこの展示会に対する期待と興奮をいやが上にも高めさせていた。

中でも、今や輻圧作業には、なくてはならない機械までに育った「油圧式前後進バイプロコンパクター」シリーズMVH-303DS、MVH-402DS、MVH-502DSが来場者の注目を浴び、説明する詰員も、汗だくの対応で来場者の熱気に、うれしい悲鳴を上げていた。

1日目は雨、2日目はうだるような暑さと、気候的には決して恵まれた2日間

とは言えなかったが、さすが伝統のグランドフェア。予定どおりの来場者に加え、三笠のコーナーに於いては遠方より来られたディーラー、ユーザーのなつかしい顔もみられ、このコーナーだけでも開場から終了まで明るい会話と快い笑い声が続いた。会場全体でもこのフェアが大成功だったことを思わせる様に笑顔の来場者を多数見かけた。

札幌(7月3日・4日開催)

7月3日・4日の2日間、全道のお客様を対象に札幌の月寒グリーンドームにて開催され、入場者数は5,200名を数え、ドーム内外とも盛大な賑わいであった。札幌では例年寒さの厳しい3月に行っていたが、今年はこの時期に変更になったため、建設展らしく外で生ビールを片手に商談の方もはずんで、さわやかな北海道の初夏の陽気を楽しんでいたようであった。

三笠コーナーにおいても新型の油圧ローラー(MRH-6D)を始めランマー、プレート、パワートロウエルとバラエティーある商品の御成約を頂きました。

尚、「産業と暮らしのグランドフェア'96」は東京、札幌の他に、仙台、静岡、名古屋、大阪、福岡等全国規模で盛大に開催されました。

この展示会開催に際し、大変ご苦勞をなされたユアサ商事の皆様へ感謝とお礼を述べると共に、創業330周年を迎えられたユアサ商事様の伝統ある展示会として更なるご発展を祈念いたします。(青木・向成記)

株式会社鈴機商事 第14回建機展開催

8月3日(土)、4日(日)の両日、株式会社鈴機商事様(社長・鈴木達雄殿 本社 藤沢市)におかれましては第14回建機展を「明日の景気は建機で掘り起こせ!!」のテーマのもとに開催されました。



当日は夏真っ盛りにもかかわらず比較的しのぎやすいお天気で、厚木営業所の特設展示会場にご来場いただきましたお客様も、往路の車の渋滞のことも少し忘れて、和やかな中にも活気のある展示会を楽しんで戴けたことと思います。

我が三笠コーナーでもMVH-303DSバイプロコンパクターやマイコンパイブレーターをはじめ多数御成約を戴きました。深くお礼申し上げますと共に鈴機商事様の今後益々のご発展をお祈り申し上げます。

横浜課 平田記

(株)不二創立40周年 ビルドフェスティバル'96



長野県に於いて、永年三笠の代理店としてご活躍されており、また東京三笠レンタル会会員として多大なるご協力を頂いております(株)不二様(本社 上田市住吉字幅田 社長・小宮山昌男殿)に於かれましては、創立40周年と今年から建設機械のリース、販売、修理部門としてビルドリース事業部を開設されたことを記念して、9月6日、7日の両日展示会を開催されました。

今年は創立40周年という事もあり、日頃お世話になっているお客様に感謝の意味を込め、楽しんでいただきたい

忍法猿楽流 三笠丸 NO.111 永井 郁



という小宮山社長の思いも強く、プロの歌手を呼び、ものまね&歌謡ショーや、チャリティーオークション等々、盛りだくさんの企画が用意され、来場されたお客様も皆様大いに楽しんでおられました。また弊社の京谷社長もお祝いに駆けつけ挨拶をさせて頂きました。

三笠コーナーにおきましては、MVH-303DS前後進バイプロコンパクターをはじめ、パイブレーター、ランマー、プレート、ローラー等々多くの御成約を頂きました。これも永年三笠製品の拡販にご協力頂いております小宮山社長様はじめ社員の皆様方の営業・サービス活動の賜と深く感謝申し上げます。さらに50年、60年と益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。 長野課 石丸記

三笠クイズ VOL.23

【問題】 タテとヨコのかぎを解いて1～5の文字をつなげると、秋にちなんだ言葉が浮かびます。さて何でしょう。

ア	B	C	D	E
イ	2		5	
ウ	F			
エ	3		4オ	1

ヒント

ヨコのかぎ

ア. 共同募金のシンボル。胸につけます。
イ. 横にまっすぐなところ。
ウ. ねじること。ひもを〇〇〇。
エ. 〇〇の筋とは次々に出てくること。
オ. 二人ですること。〇〇で勝負する。

タテのかぎ

A. 女は、〇〇〇〇〇、男は度胸。
B. ねうち。彼とは〇〇感が違う。
C. 犯人が〇〇〇〇〇〇に捕まった。
D. 〇〇で押したよう、とはいっても同じであるようす。
E. ボルトやナットを締めたり緩めたりする道具。
F. ことが終わったあと。〇〇承諾。

応募の方法 官製ハガキにクイズの答えと住所、氏名、年齢、職業(会社名)をお書きのうえご応募ください。正解者には抽選の上10名様に記念品を差し上げます。

●あて先 101 東京都千代田区猿楽町1-4-3

三笠産業株式会社

「三笠ニュース」編集室

●締切り 1996年11月11日(消印有効)

VOL.22の答えは「ナマビール」でした。次の10名様に図書券をお送りしました。

風間正様(長岡市) 梶幸子様(大津市) 白田昭次様(長野市) 宮崎陽子様(斜里郡) 高橋一子様(久喜市) 渡辺俊江様(三島市) 木村久子様(東茨城郡) 田辺浩治様(前橋市) 田光寿江様(足立区) 石田武雄様(多賀城市)

氏名 岩崎哲治

生年月日 昭和41年1月6日

出身地 東京都

所属 第一技術部

家族 独身



—日頃どんな仕事をしていますか?

マイコン及び高周波パイブレーターを担当しており、試作、実験、性能測定、耐久テストなどを業務としております。また本年度の新製品として発表させて頂いたFV-300、FU-160型高周波インバーターの特注品の試作、改良なども行い、お客様の幅広い要望に応えられる様日々努力しております。

—今ももっとも関心を持っていることは何ですか?

最近テレビなどでテニスプレーヤーの伊達公子選手の活躍を見ていて、テニスも結構きつそうだが仲々楽しいスポーツだなと思い、この前ラケットとボールを買ってきました。現在テニススクールなどを色々見て回り、何処か近所で練習できる良さそうな所がないか探しています。少し通って腕を磨こうと思っています。

—お客様に一言どうぞ

日頃より弊社の製品をご愛用いただき誠に有り難うございます。また近年新工法採用による工事の多様化が進み、お客様と同行し、現場立会テストや特殊パイブレーターの設計も手掛けておりますので、どうぞお気軽にお申し付け下さい。お客様の所へ伺いましてご説明させていただきます。どうぞ宜しくお願いいたします。

我・ら・三・笠・ビ・ル・ズ



氏名 小澤 悟

生年月日 昭和45年5月6日

出身地 千葉県

所属 第二営業部東京一課

家族 独身

—日頃どんな仕事をしていますか?

社会人となり、本社の東京地区営業担当として3年目になりました。とりえず若さだけが取り柄の営業マンなので、毎日毎日様々な場所を車で走り回ってお客様訪問を繰り返して行っています。

—今ももっとも関心を持っていることは何ですか?

半年ほど前からゴルフを始めました。とは言ってもまだコースに出たこともないのですが、毎週必ず練習場に行くようにして1ヤードでも遠くへ飛ばせるように打ちまくっております。そろそろデビューしたいと思っていますので、私よりも下手だと思っ方はどうか一緒に連れて下さい。また会社の野球チームにも所属していますので同時に試合相手も募集しております。ちなみにうちのチームは1度も勝ったことはありません。

—お客様に一言どうぞ

三笠製品と共に自分自身を売り込んで行きます。一人でも多くのお客様と友達になれるよう努力し、仕事以外でのお付き合いもしていきたいと思っています。どうか私を暖かい目で見守ってやって下さい。